

～奥局長着任のあいさつ～

7月27日付けで信越総合通信局長を拝命した奥英之です。信越には、前回長野オリンピックをはさんで2年間勤務させていただいたことがあり、今回12年ぶり2回目の勤務となります。信越の豊かな自然、温泉そして多彩な山の幸、海の幸を再び堪能しつつ、全力で職務に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、この1年間で最大の課題はあと1年を切った、地上テレビジョン放送の完全デジタル化です。

ご案内のとおり、来年7月24日までに、現在のアナログテレビジョン放送は終了する予定となっております。それまでにすべての方がデジタルテレビジョン放送を視聴できる環境を整備していく必要があります。皆様のご理解、ご協力により、本年3月末時点での地上デジタルテレビ受信機の世帯普及率は長野県で86.1%、新潟県で87.3%と、いずれも全国平均を上回り、順調にデジタル化対応が進みつつあります。一方、都市受信障害対策共聴施設、辺地共聴施設、集合住宅共聴施設のデジタル化改修には一層の取組強化が必要となっております。また、アナログ放送とデジタル放送の特性の違いにより、これまでアナログ放送の電波はかろうじて届いていたものの、デジタル放送では電波が届かなくなるという、いわゆる新たな難視という課題も顕在化してきており、テレビが視られなくなる人を一人でも出さないよう、こうした課題に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

また、情報通信技術（ICT）は安心安全で、豊かな健康長寿社会を実現するとともに、経済社会活動の活性化にも大きな役割を果たすものです。近年、ブロードバンドサービス、携帯電話などの普及は目覚ましく、我々の生活に欠かせないメディアとなっております。長野県、新潟県はいずれも、全国で4番目、5番目という広大な面積を有しておりますが、県内のどこでもこうしたサービスが利用可能な環境を整備していくことが大変重要な課題であります。さらに、長野県、新潟県とも、過疎化、高齢者の一人暮らしの増加などの課題を抱えておりますが、ICTを活用したお年寄りの見守り、健康管理、遠隔医療など、様々なICT利活用の促進を通じ、地域の諸課題の解決を図るとともに、観光や地場産業の発展などに貢献し、豊かで活力ある地域づくりを目指す取り組みについて積極的にお手伝いさせていただきたいと考えております。こうした重要課題への対応、取り組みにあたっては地域住民の皆様はもちろん、県、市町村、通信・放送事業者など関係者との幅広い連携・協力が不可欠であります。ICTを活用した地域の課題解決、豊かで活力ある地域づくりに向け、信越総合通信局職員一丸となって取り組んでまいりる所存ですので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

信越総合通信局長
奥 英之（おく ひでゆき）



略 歴

昭和34年11月18日生 三重県出身
三重県立伊勢高校、
東京大学工学部電気工学科

昭和58年 郵政省入省（電波監理局技術調査課）
平成8年 // 信越電気通信監理局電気通信部長
平成10年 // 放送行政局放送技術政策課技術企画官
平成12年7月（財）国際電気通信研究所特別主任研究員
（ブラッセル事務所長）
平成14年8月 総務省総合通信基盤局電波部電波利用料企画室長
平成15年8月 // // 国際部国際協力課長
平成17年8月 独立行政法人情報通信研究機構研究開発推進部門長
平成18年7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課長
平成19年7月 // 情報通信政策局放送技術課長
平成20年7月 // 情報流通行政局放送技術課長
平成21年7月 // 情報通信国際戦略局技術政策課長
平成22年7月 現職に就任

CONTENTS

- 奥局長着任のあいさつ.....1
- ユニバーサルサービスに関する親子見学会開催.....4
- 7月24日 地デジ完全移行まで1年切る！.....2
- Let's 地デジ！ 私たちも応援します！！.....5
- RFIDの利活用に関する調査検討を開始.....3

7月24日 地デジ完全移行まで1年を切る!

～日本全国地デジカ大作戦で多彩なPR活動を実施～

地デジ完全移行の1年前となる7月24日に、新潟県及び長野県において「日本全国地デジカ大作戦」と銘打ち、街頭宣伝活動、地デジ推進大使による放送事業者各社のローカル番組への出演、デジサポによる受信相談所の開設等、多彩な宣伝活動を実施して地デジへの早期移行を訴えました。

各県における取組の概要は次のとおりです。

<新潟県内>

新潟県内では、①7月23日から24日にかけてNHK及び民放4社のローカル番組に地デジ大使5名が出演、②県内放送事業者の局長・社長による新潟県知事及び新潟市長への更なる協力の要請、③新潟市で開催されたプロ野球オールスターゲームの特設ステージにおける地デジ大使によるPR、④8月7日の新潟まつりキラキラパレードへの参加及び新潟まつりお祭り広場ステージにおける地デジ大使によるPR、⑤7月23～24日はNEXT21及び新潟駅南口で、8月7～8日は新潟まつり特設ブースでデジサポ新潟における受信相談所の開設等の多彩なPR活動が取り組みられました。



新潟まつり「キラキラパレード」



新潟まつり「お祭り広場ステージ」

<長野県内>

長野県内では、①7月23日から24日にかけてNHK及び民放4社のローカル番組に地デジ大使5名が出演、②JR長野駅中央通路におけるパレードと長野及び松本駅前における宣伝行動、③デジサポ長野が長野及び松本駅構内で受信相談所の開設等のPR活動が取り組みられました。



JR長野駅自由通路でのパレード



JR長野駅自由通路における「デジサポ長野による受信相談所」

(問)情報通信部 放送課 026-234-9938

地域における安心安全のためのRFIDの利活用に関する調査検討を開始

～950MHz帯電子タグシステムの高度利用に向けて～

国内においては常に地震等自然災害による大規模被災が懸念されており、地域においても住民の安心安全の確保に向けた取り組みが重要となっています。大規模災害が発生した際には、建築物の被害状況や被災者の安否確認等を迅速に行うことが必要であり、これら被災情報等を正確に収集するための情報通信システムの構築が求められています。

RFID（電波を利用した電子タグシステム）については、様々な周波数帯を用いて物流等製品管理や入退室管理といった幅広い利用分野で使用されています。パッシブタグシステムについてリーダー/ライターからの搬送波の電力を利用して電波を発射することから、起動用の電源を持たなくて良いといった利点があり、新たにハンディ型リーダーでタグ情報を一括読み取り可能な中出力型パッシブタグシステム（距離1m～2m）が制度化されたこともあり、安心安全分野へのRFID利活用が期待されています。

信越総合通信局では、950MHz帯中出力型パッシブタグシステムを含めたRFIDの普及促進に向け「地域における安心安全のためのRFIDの利活用に関する調査検討会」（座長 信州大学総合情報センター 不破泰教授）を設置し、去る7月12日（月）第1回会議を開催しました。



【第1回調査検討会の様子】

（問）無線通信部 企画調整課 026-234-9953

赤帽長野県軽自動車運送協同組合への特定信書便事業の許可等

～信越総合通信局管内で7者目～

7月30日、赤帽長野県軽自動車運送協同組合（代表理事：倉坂正道）に対し特定信書便事業（注）の許可を行うとともに、信書便約款及び信書便管理規程の認可を行いました。

同組合に対する許可により、信越管内での特定信書便事業者は7者（全国331者）となります。

特定信書便事業は、信書の送達において高度化・多様化する利用者のニーズにこたえ、創意工夫を凝らして様々なサービスを提供する事業と位置付けられており、今般の参入より、利用者の選択の機会が拡大することが期待されます。

なお、同組合の特定信書便事業の概要は以下のとおりです。

特定信書便事業の参入分野：

90cm超又は4Kg超の信書便物送達

1,000円超の料金の信書便物送達

提供区域：長野県



【奥局長から倉坂代表理事に許可状を交付】

（注）特定信書便事業とは

郵便事業株式会社以外の者が他人の信書の送達を業とすることは、郵便法により禁止されていますが、総務大臣の許可を受けた信書便事業者のうち、特定の形態に該当する信書便物（信書と同封される信書以外の物を含む。）の送達サービスを提供する事業です。

（問）信書便監理官 026-234-9932

電話のユニバーサルサービスに関する親子見学・説明会を開催 ～電話のしくみとユニバーサルサービスを実感～

信越総合通信局及び(社)電気通信事業者協会では、電話のユニバーサルサービス制度【全国で提供されている加入電話（固定電話）、公衆電話、緊急通報（110番、118番、119番）の電話サービスを公平に利用できるよう、みんなで支える仕組み】について、世代を超えての理解を深めていただくため、夏休みの時期を利用した「電話のユニバーサルサービスに関する親子見学・説明会」を8月9日に長野市内で開催し、17組34名の親子の方に参加いただきました。当日は、まず、「電話のユニバーサルサービス制度」の説明とビデオ上映を行った後、参加者の方々と交えた質疑・意見交換等を行いました。

質疑・意見交換では、「なぜ公衆電話は黄緑なのか」、「ユニバーサルサービス料金はどのように決めるのか」等、多数の質問が寄せられ、担当者から説明を行いました。



【高所作業車の試乗体験】

その後、NTT東日本の電話交換局、長野市消防局の119番通信指令室及び長野県警察本部の110番通信司令室の見学を行いました。NTT電話交換局では、電話交換装置等の施設見学のほか、衛星通信移動無線車による電話体験、高所作業車（バケット車）の試乗体験及び光ファイバーケーブルの接続体験も行われ参加者に好評でした。今回の「親子見学・説明会」を通じて、電話のユニバーサルサービス制度のより一層の周知広報を図ることができました。最後に、開催にあたり、関係各位に多大なご協力をいただいたことに、あらためて感謝申し上げます。

(問)情報通信部 電気通信事業課 026-234-9936

地域の映像コンテンツ制作のためのワークショップ ～8月1日に新潟市で開催～

信越総合通信局は、8月1日（日）、NPO法人にいがたデジタルコンテンツ推進協議会等との共催で「地域の映像コンテンツ制作のためのワークショップ」を新潟市で開催しました。本行事は、地域の映像コンテンツを制作・発信することで地域の魅力を再発見し、地域の活性化につなげると共に、コンテンツの人材育成を目的として実施されたものです。9名の受講生は、「にいがたインターネットテレビ」のスタッフからカメラ撮影の方法や動画制作の技術を学びながら、「わたしの街 にいがた再発見」というテーマで動画作品を制作しました。午前中は、新潟の食文化である味噌・醤油・酒等を造る「酒蔵」と、新潟の歴史・文化を感じさせる「本町市場・古町通り」の2箇所に分かれて撮影を行い、午後には、和やかな雰囲気の中で、撮影した素材を基に約3分間の動画作品をパソコンで制作しました。普段接することのできないプロの技を学んだことは、受講生にとってとても有意義であり、非常にユーモアのある作品が出来上がるなど充実したワークショップとなりました。今回制作した作品は、「にいがたインターネットテレビ」のウェブサイトにて情報発信する予定です。信越総合通信局では、これからも継続してこのようなワークショップ等を行っていきたくと考えています。



【パソコンでの製作風景】

(問)情報通信部 情報通信振興室 026-234-9937



Let's 地デジ! 私たちも応援します!!

～第5回 NBS 長野放送 菺田 敦子 さん～



新潟県及び長野県で地デジの周知広報活動に取り組む地デジ推進大使をシリーズで紹介します。
第5回は、NBS長野放送の菺田 敦子（こもだ あつこ）さんです。

■地デジ推進大使に任命された感想は？

私が地デジ大使に任命されたのは2006年。それまでは「夕方ニュースのお姉さん」と呼ばれることが多かった私ですが、それからは「地デジのお姉さんだ!」と、声をかけられることも増えました。特に、PRスポットの反響が凄い!歌って踊った時には、街で歌をまねされたり・・・野球バージョンでは、ボールを取る下手なフォームを真似されたり!視聴者の皆さんとのコミュニケーションを増やしてくれています。

■地デジ推進大使として活動(エピソードなど)しての感想は？

地デジ大使を始めたばかりの頃は、会社でもハイビジョンカメラでの撮影が浸透し、地デジに対する認識が広がっていった頃でした。視聴者にとっての認識もあまりない。そんな中、どう親しみやすく、分かりやすく、地デジに対して理解してもらおうのか・・・知識の無かった自分も一緒に学んでいくつもりで、楽しむ姿勢で臨んできました。

■地デジの良さについて一言(PR)!

最近取材をして企画にまとめたのは、中野市のパブリカ農園と、善光寺門前で店を営む洋傘職人。色彩豊かなこれらの映像は、地デジで見るとその鮮やかさが見事です。そして、職人が作業するその表情・・・陰影も美しく描き出してくれる。'色彩の美しさ'に惹かれる私にとっては、取材したその素材を確認するとき、家でテレビを見ると、地デジのよさを実感します。

■最後に一言!

地デジ完全移行は来年7月。春夏秋冬、自然の美しさを地デジで実感しましょう♪



■プロフィール
名前:菺田 敦子(こもだ あつこ)
出身地:静岡県浜松市
趣味:旅、美味しい物を食べる、飲む、映画鑑賞
性格:好奇心は旺盛です。

新 幹 部 紹 介

①前職 ②抱負 ③趣味

8月期の人事異動に伴う、新幹部を紹介いたします。

総括調整官/地デジ推進室長



川浪 久則(かわなみ ひさのり)

- ① 独立行政法人情報通信研究機構
- ② 地域における地上デジタル放送を楽しむ視聴環境の整備に取り組みます。
- ③ テニス、ハイキング、温泉

電気通信事業課長



藤牧 孝浩(ふじまき たかひろ)

- ① 北陸総合通信局航空海上課長
- ② 信越地域の情報通信の発展と安心・安全な利用に努めます。
- ③ 温泉、旅行

情報通信振興室長



増田 和宏(ますだ かずひろ)

- ① 独立行政法人情報通信研究機構
- ② 信越地域にふさわしい ICT 利活用の促進に努めたい。
- ③ 信越各地を巡りたい。

監視調査課長



鈴木 和義(すずき かずよし)

- ① 関東総合通信局宇宙国際調査課長
- ② 7年ぶりの信越局。綺麗な空気と同様なクリーンな電波利用環境作り。
- ③ 野山の散策、マラソン、釣り

主な予定

■地域情報化セミナーの開催 ～暮らしの中に生きるデジタルアーカイブ～

日時 10月20日(水)
場所 メルパルク長野(長野市)